

教職員自己紹介

本多 和正 (ほんだ かずまさ)

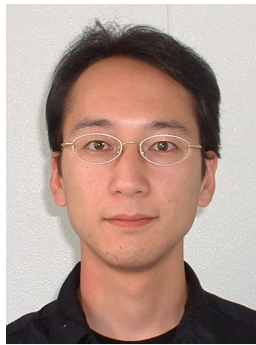
実習助手

1975 年生まれ。長崎県出身。実家は島原の乱の史跡・原城跡のすぐ近くです (徒歩数分)。

1997 年に九州大学理学部数学科を卒業し、1999 年に九州大学大学院システム情報科学研究科 情報理学専攻修士課程を修了後、同専攻博士課程に進学し現在も在籍中です。

修士課程では並列プログラミングの手法の 1 つである協調実行言語 (Coordination Language) の意味論についての研究を行っていました。博士課程に進んでからは、ラフ集合理論や形式概念解析についての研究 (勉強) をして、現在は関係計算の定理自動証明システムの理論と実装についての研究を行っています。

本学部では実習助手として、前期は情報リテラシー、同演習、解析学基礎演習、後期はプログラミング、同演習、基礎線形代数学演習の補佐を行います。が、解析学や線形代数学は大学院に入ってからというものまったくといっていいほど縁がない分野であったので演習時間に学部で習った内容を思い出しながらやっているという状況です。とはいえ、質問に答えられる程度には思い出せているので、遠慮なく質問しに来てください。



Mohammad Asad Ronee

(モハマッド アサッド ロニー)

実習助手

まず学歴・職歴から紹介したいと思います。僕は Bangladesh の Khulna に生まれ、1996 年に首都の Dhaka の Bangladesh University of Engineering and Technology を卒業して、ALICO Bangladesh で働いていました。仕事はほとんどプログラミング関係で、社内のためのシステム設計や構築などやっていました。ALICO をやめて 1997 年の 10 月に来日して九州大学に研究生として入学しました。1998 年 4 月に九大大学院システム情報科学研究科修士課程入学し 2000 年 4 月に同学科で博士後期課程に進学しました。

研究テーマは区分線形二次元ワープによる手書き文字認識です。手書き文字画像における歪を、入力文字と予め用意してある標準文字画像を区分線形 2 次元ワープという弾性マッチング法でマッチングさせて吸収させてやって認識率を高めようという目的で頑張っています。これ以外は NLP やデータマイニングに興味はありますが、なかなかその辺の勉強が出来ていません。

九州産業大学情報科学部で実習助手としての採用は今年初めてです。担当科目は情報リテラシー・同演習、解析学基礎演習、プログラミング基礎・同演習、線形代数学演習ですが、特に数学の方は忘れていたのもあって、それと僕が英語でしか知らない専門用語もあつたりするんで学生さんと一緒に習っていく感じでやっています。

最後に趣味とかを紹介しますが、やりたいことがいっぱいあるので、挙げるのが難しいです。ロングドライブがかなり好きですね。月に 1 回ぐらいは行くようになっています。それと、スポーツはほとんど見るのが好きで、学部時代では卓球とクリケット (cricket) をよくやってきました。あと、日本に来て料理をし始めて結局それも趣味になっちゃいました。

僕には大学生のころが一番印象に残ってると思います。寮生活でたくさんの友達を作ったり、またグループでディスカッションしながらお互いに協力して勉強したりしてとても楽しかったです。九産大の皆さんも学生としての責任を負担と思わずに楽しくやっていってください。

